

- 協議完了時
- 変更時
- 工事完了時

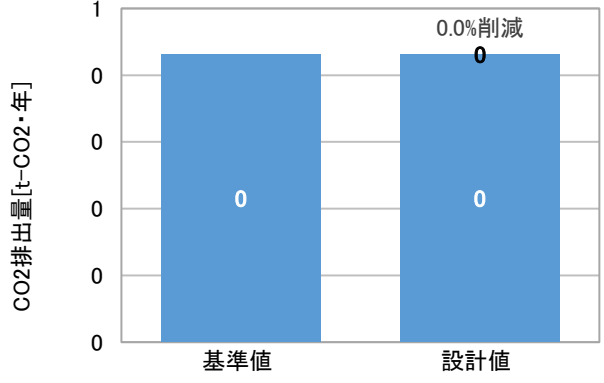
建築物の名称 (仮称)千代田区神田神保町ビル計画新築工事

建物用途	事務所、飲食店	敷地面積	176.24 m <sup>2</sup>
建築物の所在地	東京都千代田区神田神保町1丁目34番1,17,18,28(地名地番)	建築面積	116.76 m <sup>2</sup>
地域	神保町地域	延床面積	681.51 m <sup>2</sup> : 計算対象 681.51 m <sup>2</sup>
竣工日	2023年11月15日	階数	地上 6階 地下 1階
		構造	S造

省CO2効果

<p>削減率</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>	<p>省エネルギー基準</p> <p>基準一次エネルギー消費量 8.8 [GJ/年]</p> <p>設計一次エネルギー消費量 8.8 [GJ/年]</p> <p>BEI(設計値/基準値) 1.00</p> <p>CO2排出量</p> <p>基準値 0 [t-CO2・年]</p> <p>設計値 0 [t-CO2・年]</p> <p>削減量 0 [t-CO2・年]</p> <p>削減率 0.0 %</p>
---	--

省CO2対策の概要  
Low-E複層ガラスと外壁高断熱化により熱負荷を低減し、LED照明により省CO2を図った。

省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲:共用部)
- 人感センサ
- 明るさセンサ
- スケジュール制御 (範囲:共用部)
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
  - 複層ガラス
  - 庇・ルーバー・バルコニー
  - 外壁高断熱化
- 面的エネルギー活用
- 地域冷暖房を導入
  - 地域冷暖房を将来導入
  - 既存地域冷暖房から受入
  - サブプラントを設置
  - 特定電気事業者等を導入
  - 特定電気事業者等を将来導入
  - 特定電気事業者等を受入
  - 熱融通
  - 電力融通
  - 面的対策その他
- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮